

南 風

田富南小校長通信
No. 21 2月22日(木)

この頃の南小

2月も残り3日ほどになったこの頃の南小。季節が確実に春が近づく今、日々児童の元気が声が聞こえています。(梅の花が咲きはじめています。)



① ひなんくんれん 避難訓練を行いました...

2月13日(火)に大規模地震の警報が出されたとの設定で中休みの時間に避難訓練を行いました。抜き打ちだったこともあったのですが、警報を放送で流し、教頭先生からの放送のしたがつて1次避難を行いました。子どもたちの行動の中に多くの課題が見られました。校舎内(教室)ではいつもの訓練と同じで机の下に避難したのですが、廊下やワークスペース、図書室などでの避難やグラウンドで遊んでいる時の避難について「どのように避難してよいのか」が理解できていないことが分かりました。毎年各学年学級担任の先生方が、避難についての指導をしていますが、子どもたちの中にしっかりと浸透していなかったということでした。現在では、日本各地で起きた災害はテレビなどですぐに分かります。いざという時にどのように避難すべきかを理解していなければなりません。訓練だからといっていい加減にしていると、実際大規模災害が起こった時に、すぐには避難できないことが考えられます。「訓練のための訓練」ではなくて「万が一のときにしっかりと避難できるようにするための訓練」ですので、いい加減に行わないようにしないといけなかったと思います。避難の基本は自分で自分の身を守ることだと言われています。発達段階に応じて、自分でできるようになってほしいと思います。

② 6年生出前授業(2月15日)

小中連携ということが以前から言われていました。コロナウィルス感染症の蔓延前までは、中央市田富学区でも中学校の先生方が各教科に分かれて、小学校の先生方の授業を見に行ったり、英語科の先生方がお互いに授業で使っている教材の共有



をしたりと連携をしていました。しかし、ここ3年間ほどは何も行われていなかったこともあり、田富中学校の校長

先生にお願いして、中学校の先生に6年生の授業を行ってもらいました。

今回は2名の先生に来ていただき、^{すうがく}数学の授業をタブレットを使って行ってもらいました。子どもたちは大変^{きんちよう}緊張していた様子が^{うかが}伺えましたが、授業が進むにつれてだんだんと授業内容に引き込まれていくのが分かりました。小グループになって考えを出しあったりしながら、あっという間の1時間でした。あと2カ月後には中学校へ進学する6年生です。少しでも中学校のことが分かればそんなに不安感を持つこともなくなるのではないかと思います。

③ ミニコンサート 冬

2月15日・16日・20日の3日間の中休みを使って、ミニコンサートを行いました。子どもたちが各学年ごとグループになって歌ったり^{おど}踊ったり、^{がっきえんそう}楽器演奏をしたりなど思い思いの発表を行っていました。各グループで内容を考え、練習^{ひょうげんかつどう}しての発表。表現活動の一環としても大切な活動だと思いますし、コロナ前の南小では合唱活動が盛んでしたので、またまた^{ふっかつ}復活していくためにも必要なのだと思います。何より、子どもたちが楽しく発表できることが一番だと思います。良い笑顔がたくさん見られました。新年度になったら、保護者の方々にも再び見ていただけるように!と考えています。



おはようございます!!



学校評価からの課題

例年、学校では児童・保護者・教職員が共通した質問を利用^{がっこうひょうか}しての学校評価を行っています。今年度も12月末までに行った結果^{しゅうけい}の集計が出されました。その中で出てきた課題ですが...

① あいさつについて。

児童は児童会でも「“あいさつ“をしっかりしよう」と毎朝あいさつ運動に取り組んでいますし、毎学期「あいさつ名人」を表彰しています。しかし、学校ではあいさつができていても、登下校時など学校を離れたところでの近所の方など地域の方などへのあいさつがあまりできていないのではないかとされています。「あいさつ日本一をめざす」学校ですから、積極的にあいさつができるようになって欲しいです。

② 目的をもって...

子どもたちは毎日学校では楽しそうに学んでいますし、遊んでもいます。しかし、改めて「目的をもって生活しているか」と言われると難しいと思います。遠い未来になりたい自分を描くための目的ではなく、今「これができるようになりたい」といった目の前にあることを実現するための目的・目標をもって過ごすことが大切です。学校で児童を教え育て、先生たちが意識しなければならない課題だと思います。